

高等学校における道徳教育

主題名 進路選択を通じて自己実現を目指す

資料名 「魔法使いの少年」(出典「明日への扉Ⅱ」)

学校名 千葉県立京葉高等学校 指導者 佐山 彰汰

1 学習指導案

高等学校1年A, B, C, D組 道徳学習指導案

平成29年10月12日(木)6校時

(1) 主題名

進路選択を通じて自己実現を目指す

(2) ねらい

疲れた大人の心が、何気ない子供のしぐさに心を打たれ、自分を見つめ直し、人として正しい生き方とは何かを考えさせられた経験談から、人間としての在り方・生き方を探求し、日々の暮らしの中にある大切なものを見つける機会とする。

(3) 主題設定の理由

仕事で疲れ、車で帰路に着く男性が押しボタン式の信号が赤に変わり停車した際に「間が悪な…」と思い苛立っていた。その時、横断歩道を渡り終えた少年に魔法をかけられた。この少年はこちらに向かって丁寧に頭を下げ、「ありがとう」のお辞儀をしたのだ。

殺伐とした日常の中で出会った少年のやさしさと礼儀正しさに心を打たれ、人間が本来持つべき大切なものを再確認できた。人として正しい在り方とは何か、生き方とは何か、簡単なようで実は奥が深く人生における永遠のテーマともいえることに目を向けさせ、やさしい心・正しい生き方を伝える場としたい。

本校の生徒は、日頃の挨拶や生活習慣に関して非常に優れている。小中学校時代、この少年のように道路を横断した際、お辞儀をする指導を受けてきた生徒もいると推察する。このことは高校生のマナーを見つめ直すきっかけにもなると考えられる。様々な場面での礼儀や公共の場での譲り合い、交通ルール等について考えさせ、この少年のような「魔法」を使える自分を作る機会にもなると考え、本主題を設定した。

(4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5分)	1 本時のテーマ(感謝)について把握する。 【本時のテーマ】 人としての正しい在り方・生き方 ・班の代表一人が模造紙の中央に本		・付箋と模造紙、マジックを班ごとに配る。

	<p>時のテーマを大きく書く。</p> <p>○「人としての正しい在り方・生き方とはどんなことですか。」</p> <p>・思いついた考えを付箋に書き、模造紙に貼る。</p>	<p>・友達にやさしくすること。</p> <p>・お年寄りに電車で席を譲る。</p> <p>・昨日の自分より成長すること</p>	<p>・『人としての正しい在り方・生き方』と書かれたカードを掲示する。</p> <p>・考えを書けていない生徒に対して、無理に書かせるようには促さない。</p> <p>・黄色の付箋に書かせる。</p>
<p>展開 (40分)</p>	<p>2 題材『魔法使いの少年』を読む</p> <p>○「子どもはどんな気持ちでお辞儀をしたのだろうか。」</p> <p>・思いついた考えを付箋に書き、模造紙に貼る。</p> <p>○「子どもがした行為は、『人として正しい在り方・生き方』に当てはまるかな。」</p> <p>○「子どもが取った行動のように『人として正しい在り方・生き方』とは何でしょうか。」</p> <p>・思いついた考えを付箋に書き、模造紙に貼る。</p> <p>・模造紙に貼ってある班の意見を確認し合う。</p>	<p>・お母さんにそのように躰られたから。</p> <p>・自然とお辞儀をした</p> <p>・本当に感謝したんだと思う。</p> <p>・素直な気持ちを忘れないこと。</p> <p>・勇気を持って表現すること。</p>	<p>・題材を範読する。</p> <p>・赤色の付箋に書かせる。</p> <p>・青色の付箋に書かせる。</p> <p>・班全体での活動を見渡し、さまざまな意見をピックアップする。</p>
<p>終末 (5分)</p>	<p>◆「この授業で感じたことや改めて自分の生活の中で考えさせられたことを模造紙の余白に書き込みましょう。」</p> <p>○最後に全ての班の模造紙を黒板貼り、内容の共有を行う。</p>		<p>行動として行うことも大切だが、その気持ちを持つことも大切だということを伝える。</p>



2 事後検討会

(1) 授業記録

- T 今日の道徳のテーマは、「人としての正しい在り方・生き方」です。
- T では、各班の代表者は、模造紙の中央に今日のテーマを大きく書いてください。
- T まず皆さんに、「人としての正しい在り方・生き方」とはなんだと思いますか。各班に配った黄色の付箋に考えたことを書きましょう。
- T どんなことを書きましたか。
- S 他人に対して平等に接することです。
- T いいですね。他にはどうですか。
- S 毎日健康でいることです。
- T 素晴らしい。他にもたくさん書いてますね。
- T では、本日のテーマに関連して皆さんに配った明日への扉の「魔法使いの少年」を読んでみましょう。
- T このテーマに関するCMが以前流れていたのでも全員で観てみましょう。
- T 横断歩道を渡った子どもは、どのような気持ちでお辞儀をしたのでしょうか。
- S ありがとうという感謝の気持ちだと思います。
- S 時間を割いてもらってごめんなさいと感じていると思います。
- T この子どもがした行為は「人としての正しい在り方・生き方」に当てはまっているかな。
- S 当てはまっていると思います。
- T では、もう一度最初に聞いたことを聞きます。「人としての正しい在り方・生き方」とはどのようなことだと感じましたか。青色の付箋に書いて模造紙に貼りましょう。

T どのようなことを書きましたか。

S 気遣いや思いやりの心が大切だと感じました。

T では、全員がどのような意見を書いたのかクラス全体で模造紙を交換して共有してみましよう。

T この授業で改めて感じたことや考えたことなどを模造紙の余白に書き込みましよう。

T 最後にもう一度映像をみて授業を終わりたいと思います。

(2) 授業の感想

(生徒の感想)

- ・ちょっとした行動で人の気持ちを変えることができるんだなと思った。
- ・自分のために頑張ることも大切だと思うけど、他人のために頑張ることの方がより大切だと感じた。
- ・人生、人との関わりを大切にしようと思う。
- ・人との関わりを大切に他人に優しく接しようと思いました。
- ・礼儀を大切にしようと思いました。
- ・完璧な人間にはなれないなと思ったけど、日々の中で相手を思いやったり、自分を見直しながら生きるのが1番大切だと改めて思いました。
- ・今からできることを全力で頑張ろうと思った。
- ・みんなの考えが知れてよかったと思いました。まじめに純粋に生きたいなと思いました。

3 本事例の活用に関する留意点

- (1) 「人としての正しい在り方・生き方」という項目で行った授業ですが、題材である「魔法使いの少年」とのつながりが高校生にとって考えが収束せず多様な思考がでてくる。生徒たちの多くの意見を取り入れながら、的外れな方向に展開していかないよう指示や発問を明確に投げかけなければならない。
- (2) 必ずしも答えが1つではないので、他の生徒の意見を受け入れ、批判することがないよう声かけを行い、全体としての気持ちを深めていく。
- (3) 横断歩道を渡った子どもの視点とドライバーの視点で、違う見解が生まれる。生徒たちには、どちらの視点で考えなければいけないのかを教師が指示する。